

# ドクターGの率いる 総合診療専門医プログラムはこちら

## 研修プログラムの特徴

- 病歴聴取・身体診察・鑑別診断を意識した臨床推論を実践
- 基幹病院として地域の疫学を反映した臨床現場で研鑽
- 臓器別専門医・救急医・研修医との強力な連携
- 比較的近い二つの医療機関（自動車で15分程度）ですべての研修が完了  
他の多くの総合診療専門医研修プログラムで生じるような3年間の研修期間中の引っ越しは一度も必要ありません。

<b>1. プログラム名称</b>
市立福知山市民病院 総合診療専門医研修プログラム
<b>2. 専攻医定員</b> <b>及び</b> <b>3. プログラムの期間</b>
1年あたり： 4名      プログラム期間：3年間
<b>4. 概要</b>
<b>A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長</b> 本プログラムは、市立福知山市民病院と市立福知山市民病院大江分院から構成する。結核病床や回復期リハビリ病床を含めて354床を持つ市立福知山市民病院は、人口約8万人の福知山市の地域基幹病院で、周辺地域を含めた約10万人の医療圏を持つ。大江分院は療養病床を含めて72床からなる地域医療機関である。双方を合わせた医療圏には、京都府北部の長田の工業団地を含むことから、一定数の若年者や小児が居住し、また大江地区をはじめとした山間部には多くの高齢者が居住している。周辺に医療機関が少ないことから、両医療機関を通じて一次から三次まで、高齢者から年少者まで、様々な疾患の地域でのマネージメントを外来・入院・在宅の各フィールドで実践することが出来る。
<b>B. プログラムの理念、全体的な研修目標</b> ■ プログラムの理念：地域で責任ある確実な医療を提供できる医師を養成する ■ 全体的な研修目標：医学的には、頻度の高い症候・疾患の初期診療や継続的な医療を提供するとともに、稀な疾患でも適切に対応し専門医につなげられるための十分な臨床能力を養う。同時に患者背景や社会資源への十分な配慮も身につける。さらに予防や福祉に関わる問題にも貢献できる。
<b>C. 研修期間を通じて行われる勉強会・カンファレンス等の教育機会</b> (例) 定期的なTV会議システムによるカンファレンス・経験省察研修録(ポートフォリオ)勉強会や作成指導等 週1日のハーフデイバック、1~2か月毎のポートフォリオ勉強会及び作成指導 外部講師を招聘して実施する研修会(約2月に1回)、各スタッフ医師や研修医自身主催の勉強会 症例カンファレンスは、いずれの施設においても少なくとも、入院患者について週2回、外来患者について週1回で実施 総合診療専門研修Ⅱでは毎日の朝夕に症例検討を実施

D. ローテーションのスケジュール例

(4年以上のプログラムの場合は、枠を増やして4年目以降のローテーションについても記載すること)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	市立福知山市民病院											
	領域	総診 II	総診 II	総診 II	総診 II	総診 II	総診 II	小児 科	小児 科	小児 科	救急	救急	救急
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	施設名	市立福知山市民病院大江分院											
	領域	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I	総診 I
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	施設名	市立福知山市民病院											
	領域	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ (12)カ月	総合診療専門研修Ⅱ (6)カ月	
領域別 研修	内科 (12)カ月	救急科 (3)カ月	小児科 (3)カ月

5. 準備が必要な研修項目

**地域での健康増進活動**

- 実施予定場所 (市立福知山市民病院大江分院リハビリテーション室 または 大江町総合会館 )
- 実施予定の活動 (ロコモティブ症候群の患者に対する健康体操指導 )
- 実施予定時期 ( 総合診療専門研修Ⅰ )

**教育(学生、研修医、専門職に対するもの) 例**

- 実施予定場所 (市立福知山市民病院大江分院 )
- 実施予定の活動 (病院職員を対象にしたユマニチュードによる患者対応指導 または 院内感染対策指導 )
- 実施予定時期 ( 総合診療専門研修Ⅰ )

**研究**

- 実施予定場所 ( 市立福知山市民病院 において継続的に実施している臨床研究ワークショップにて実施 )
- 実施予定の活動 ( 臨床研究のプロトコールを作成し、データ収集または既存データベースを使用して研究を実施 )
- 実施予定時期 (1年目より院内臨床研究ワークショップに参加して研究を構築し、3年目前半で学術大会にて発表)